

会議名	令和4年度 第1回放課後等デイサービス事業所連絡会
日 時	令和4年5月19日（木）9:30 ～ 11:30
場 所	板橋区立グリーンホール
参加者	各事業所の代表者33名、区関係部署職員11名
<p>【議事内容】</p> <p>（1）事業者集団指導¹（障がいサービス課認定給付・指導係より）</p> <p>区による実地指導や監査についての概要、指摘事項について説明をした。内容については以下のとおり（抜粋）。</p> <p>①実地指導の実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実地指導を行う場合は、<u>概ね1ヶ月程度前</u>に実施通知を送付して、検査日時、検査書類等を通知する。 ・検査当日に、事前提出書類及び当日確認書類の閲覧、関係者との面談を行い、改善が必要な項目について「講評」を行う。 ・後日結果通知を送付し、文書による改善の指摘（<u>文書指摘</u>）を行った場合は、<u>結果通知後30日以内に改善報告書の提出</u>を求める。 <p>②監査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス内容が不当である場合は又は障害児通所給付費等の請求に不正が疑われる、実地指導の指摘事項に改善が見られない等、事業所の運営に支障が生じていることが疑われる場合に、<u>再度事実確認</u>を行い、公正かつ的確な措置を行うために実施する。基準違反等が確認された場合は、<u>勧告、命令</u>となる可能性がある。 <p>③実地指導における主な指摘事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護・虐待防止 ・サービス提供の記録 ・障害児通所給付費の額に係る通知 ・掲示 ・衛生管理 <p>④併用利用者の支給量管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の事業所を併用している利用者の支給量管理については、特定の事業所が管理しなければならないという定めはなく、「上限管理事業所」が決まっている場合でも、<u>決定支給量の管理は利用者（利用児童保護者）が行うものとなっている</u>。しかしながら、<u>複数事業所を利用することにより、その管理が困難となる場合もあるため</u>、利用したそれぞれの事業所における的確に行った上で、<u>事業所同士で利用状況を把握するよう努め、支給量を超過することが無いように配慮してほしい</u>。 <p>⑤その他</p> <p>放課後等デイサービス事業所の送迎時の事業所近隣での乗降のための車両停車について、安全確保の観点から事業所近隣に車両を停車させて乗降を行うことは必要なことではある。しかしながら、近隣住人等より、苦情として停車車両に関しての連絡が入ることもある。安全性確保に十分に配慮し、近隣住人等の理解が得られる様、十分な説明を行う、車両1台ずつを停車させ分散乗車を行うなどの対応をとることにより、停車車両による他の車両及び歩行者の通行の妨げにならないよう十分に配慮した送迎運行を実施してほしい（実際に、苦情が入った事例がある）。</p>	

⑥令和３年度障害福祉サービス等報酬改定について

・令和３年度障害福祉サービス等報酬改定により、令和４年度以降、「虐待防止委員会の設置等」、「従業者への研修の実施」、「虐待防止等のための責任者の設置」が義務化された。

集団指導¹…対象となる障害福祉サービス事業者等に対して、必要な指導の内容に応じ、一定の場所に集めて、講習等の方法により指導を行うこと（板橋区障害福祉サービス事業者等指導及び監査実施要綱より）。

（２）障害者差別解消法、障がい者虐待防止法について（障がい政策課自立支援係より）

不当な差別的取り扱いや合理的配慮²等について、具体例を交えて説明があった。内容については以下のとおり（抜粋）。

①不当な差別的取扱い 具体例

- ・人的、設備体制が整っており、対応可能であるにもかかわらず、医療的ケアの必要な障がい者、重度の障がい者、多動の障がい者の福祉サービスの利用を拒否すること。
- ・正当な理由なく、他の者とは別室での対応を行うなど、サービス提供場所を限定すること。
- ・正当な理由なく、サービス事業所選択の自由を制限すること（当事者が望まない事業者をすすめるなど）
- ・サービスの利用に必要な情報提供を行わないこと。
- ・正当な理由なく、行事、娯楽等への参加を制限したり、年齢相当のクラスに所属させないこと。
- ・本人を無視して、支援者・介助者や付添者のみに話しかけること

→正当な理由のポイントとして、「前例」や「慣例」、「決まりだから」では不可。正当な理由があると判断した場合には、その理由を説明し、理解を得るように努めること。

②合理的な配慮 具体例

- ・障がいの特性に応じた休憩時間等の調整などのルール、慣行を柔軟に変更すること。
- ・説明文書の点字版、拡大文字版、テキストデータ、音声データの提供や必要に応じて代読・代筆を行うこと（可能な限り本人が希望する方法でわかりやすい説明を行うこと）。
- ・電子メール、ホームページ、ファックスなど多様な媒体での情報提供、利用受付を行うこと。
- ・パニック等を起こした際に静かに休憩できる場所を設けること。

→配慮の方法は、ひとつではなく、建設的な対話により目的に応じて代替えとなる手段を見つけることが大切。

合理的配慮²…障がいのある方から何らかの配慮を求める意思の表明があった場合には、負担になりすぎない範囲で、社会的障壁を取り除くために必要な配慮を行うこと。

（３）東京都からの指定事務等の移管について（障がいサービス課地域生活支援係より）

令和４年７月１日より東京都から移管される、障害児関係事務³について、板橋区より各事業所代表者に改めて周知した。

障害児関係事務³…障害児通所支援事業、障害児入所支援事業の指定・更新

障害児通所支援事業、障害児入所支援事業の変更の届出
不利益処分（指定の取消、効力停止、勧告、命令等）
処遇改善（特別）加算等
障害児通所支援事業、障害児入所支援事業の指導検査

（４）放課後等デイサービス事業所一覧の作成について（障がいサービス課地域生活支援係より）
フォーマット（別紙 参照）に事業所情報を入力してもらい、各事業所から提出された事業所
情報を一覧にしたものを作成する。作成にあたって、各事業所にはフォーマットへの情報入力、
年に１回の更新作業等を依頼する。

（５）新規開設事業所の紹介

令和３年２月以降に開設された事業所より、事業所の概要等について紹介があった。

（６）各事業所間における意見交換等

【次回開催予定日】

令和４年１０月２０日（木）

参考

放課後等デイサービス事業所一覧（令和４年９月２０日時点）

	事業所名
1	東京YWCAキッズガーデン
2	児童デイサービスもちの木
3	放課後サポートわくわく
4	フォレストケア中板橋
5	フォレストケア下板橋
6	フォレストケア板橋本町
7	キャプテンキッズ
8	放課後等デイサービス事業所てんとう虫
9	放課後等デイサービス事業所ウイング・ケアサービス
10	ゆめの園みらいず蓮根
11	ゆめの園みらいず蓮根 けやき分園
12	児童デイサービス悠湯館
13	このこのリーフ
14	アプリ児童デイサービス高島平

15	キッズステーションフレンズ
16	このこのリーフ板橋区役所前
17	ドリームボックス高島平
18	放課後等デイサービスオレンジスイート
19	このこのリーフ西台駅前
20	アプリ児童デイサービス高島平2号館
21	このこのランド上板橋
22	児童デイサービス・アニマート蓮根駅前
23	シルバーハート放課後デイサービスひまわり 成増
24	ドリームボックスときわ台
25	ライブラリーライフそよかぜ
26	クローバーよつばのいえ
27	このこのランド桜川五本けやき
28	レインボー熊野町
29	児童放課後等デイサービス ノア
30	ゆめの園みらいず若葉
31	キッズアカデミーころん 板橋校
32	まあるチャレンジ
33	児童デイサービス悠湯館 上板橋
34	放課後等デイサービスぬくあい
35	イルカ児童園（板橋区役所前教室）
36	放課後等デイサービス事業所 わわわ
37	studio koti（スタジオ コティ）
38	W i n g - G a r d e nときわ台
39	子ども発達支援ルーム おれんじ学園 s u n
40	ハートアイランド
41	フォレストケア大山